

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 12	ごみ処理広域化計画推進事業	☐ 法定受託事務
所管課	環境部 環境施設課		評価者 環境施設課長 坪田 慎介
一般	会計	款 20	項 10 目 05
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境	施策の方針名 3 R の推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	名越・今泉クリーンセンター等	意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☒ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 令和16 年度） ☐ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の推進	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の推進	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の推進
予算額（千円）	30	30	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	30	30	0
当初人員配置数	1.5	1.5	0.0
人件費（千円）	12,806	13,239	0
事業実績	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の推進		
決算額（千円）	8		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	8	0	0
人員配置実績数	1.5	0.0	0.0
人件費（千円）	12,425	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	逗子市焼却施設での処理率（実績値/計画値）	%	0	⇒	79.13		
活1	実績につながる活動	2市1町で協議を継続し、適切に可燃ごみを処理した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	広域ブロックにおける資源化処理の遅延により焼却可能量が確保できなかったため。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	地方自治法第252条の14第1項の規定に基づき、逗子市焼却可能量を超えない範囲内において、本市から排出される可燃ごみの一部の焼却処理の管理及び執行を逗子市に委託し、適切に処理を行う。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	本事業は、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画に基づき、2市1町での広域処理に必要な協議を実施するものであり、成果指標の設定になじまないため設定していない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方角性 ⇒	評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方角性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

課題への対応		結果	具体的な内容
今後の取組方針 (見直し方針)	前年度の新たな課題への対応結果	解決	令和7年度から地方自治法に基づく事務委託により、本市の可燃ごみを一部を逗子市焼却施設にして処理を行っている。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	神奈川県長期広域化・集約化計画の策定に伴い、逗子市焼却施設稼働停止後の広域ブロックのあり方について具体的検討を進める必要がある。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない	既存事業において対応が可能である。
	総評	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画に基づき、本市の可燃ごみの一部を逗子市焼却施設で引き続き安定的に処理するとともに、本計画の推進に向けて2市1町で連携して協議を進めていく。	
			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		広域ブロックにおける処理体制等のあり方は地理的条件や処理体制、施設能力等によりそれぞれ異なり、比較することは困難であるため。							